

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 600 事業名 遠距離通学児童生徒に対する通学費交付事業（教育政策課）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		教育総務費	
	目		事務局費	
大事業			事務局事業	
事項			遠距離通学児童生徒対策事業（教育政策課）	

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	3	小・中学校教育の充実
取組	4	豊かな教育を支える環境整備

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	S 4 7	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	教育政策課	新 好司 (435-1135)	
関連課	学校教育課		

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
○			

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		事業内容				
事業概要	旧分校地区（滝畑地区）から小学校へ通学する児童に対して通学の便を図る。		旧分校地区（滝畑地区）から山口小学校へ通学する児童に対して通学の便を図るためスクールバスを運行させる。使用する自動車についての燃料費、修繕費等の維持管理費を当課が直接負担し、運転業務のみ山口地区通学自動車運営委員会に委託している。			
	実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
		遠距離通学児童生徒対象3人の送迎 1年単位で山口地区通学自動車運営委員会と契約しており、運転手は地元の顔見知りをお願いしたいという保護者からの要望もあり随意契約となっている。	遠距離通学児童生徒対象1人の送迎 1年単位で山口地区通学自動車運営委員会と契約しており、運転手は地元の顔見知りをお願いしたいという保護者からの要望もあり随意契約となっている。	遠距離通学児童生徒対象2人の送迎 1年単位で山口地区通学自動車運営委員会と契約しており、運転手は地元の顔見知りをお願いしたいという保護者からの要望もあり随意契約となっている。	遠距離通学児童生徒2人の送迎 1年単位で山口地区通学自動車運営委員会と契約しており、運転手は地元の顔見知りをお願いしたいという保護者からの要望もあり随意契約となっている。	遠距離通学児童生徒1人の送迎 1年単位で山口地区通学自動車運営委員会と契約しており、運転手は地元の顔見知りをお願いしたいという保護者からの要望もあり随意契約となっている。

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	2,098	1,818	1,925	1,354	1,174	1,053	1,047	995	1,182	
伸び率 (%)	-	-	-8.2%		-39.0%		-10.8%		12.9%	
人件費	常勤職員	2,910	2,623	2,910	3,234	2,910	1,870	1,870	1,180	1,178
	非常勤職員									
	小計	2,910	2,623	2,910	3,234	2,910	1,870	1,870	1,180	1,178
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	2,098	1,818	1,925	1,354	1,174	1,053	1,047	995	1,182	
所要人数	常勤職員	0.38	0.34	0.38	0.43	0.38	0.25	0.25	0.16	0.16
	非常勤職員									
主な予算内訳	自動車燃料費 96千円 自動車修繕費 150千円 自動車保険料 72千円 公課費 7千円 自動車運転委託料 857千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	利用人数				年度目標値	3	2	2	2
					実績値	3	1	2	2
	単位	人	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
						年度目標値			
					実績値				
					年度別達成度				
成果指標	利用回数（送迎日数/開校日（予備日5日））				年度目標値	201	204	206	206
					実績値	198	197	199	200
	単位	回	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	98.5%	96.6%	96.6%	97.1%
						年度目標値			
					実績値				
					年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	遠距離の通学を要する児童に対し、便を図り、通学途上の不慮の事故を未然に防止するためにも現状のまま事業を継続する必要がある。
「見直し」 「改善」案	
※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「 <u>現状維持</u> 」以外の場合は記載	